

商 業

商業に関する指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
卸売業事業所数 (人口千人当たり)	2.68 事業所	28	2.91 事業所	24
小売業事業所数 (人口千人当たり)	9.66 事業所	18	8.09 事業所	24
小売業の年間商品販売額 (従業員1人当たり)	15,909 千円	7	15,513 千円	23

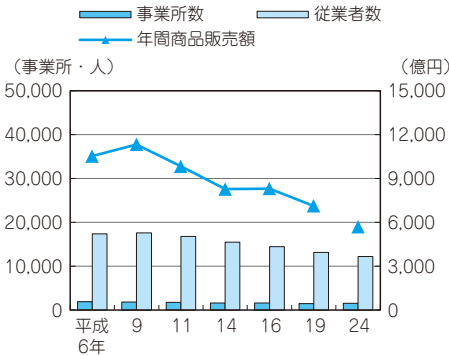
(商業)

平成24年の卸売業は事業所数1,567事業所、従業者数は12,225人となっています。また、平成23年の業種別商品販売額の見ると、「農畜産物・水産物」の占める割合が最も高くなっています。

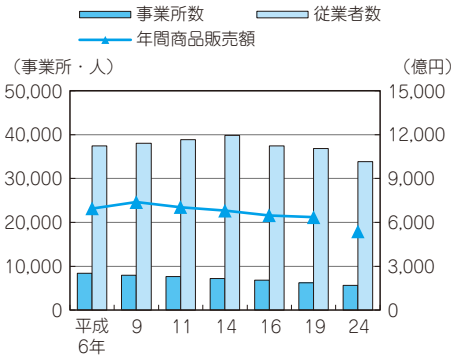
一方、小売業の事業所数は、5,649事業所、従業者数は33,838人となっています。また、業種別商品販売額を見ると、「飲食料品」の占める割合が最も高くなっています。

商業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移

卸売業



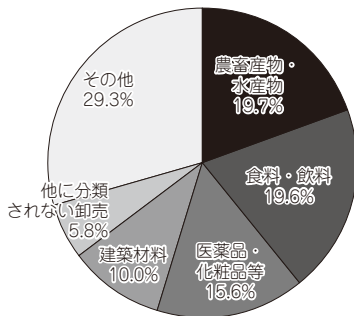
小売業



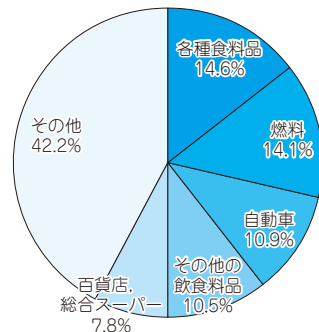
資料 経済産業省「商業統計」、平成24年のみ総務省「経済センサス・活動調査」

業種別年間商品販売額構成比 (平成23年)

卸売業



小売業



資料 総務省「経済センサス・活動調査」

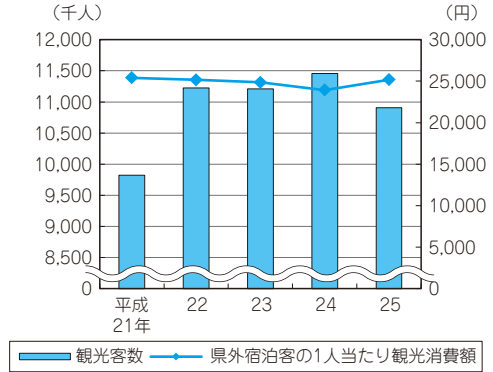
(観光)

平成25年の観光客入込動態調査によると、観光入込客数は10,909千人でした。

これを発地別に見ると、「近畿」地域の占める割合が最も高くなっています。

地域別入込数では、「鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺」が2,938千人で最も多く、次いで「境港周辺」が2,411千人となっています。

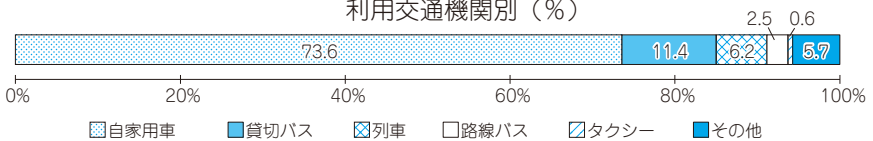
観光入込客数及び観光消費額の推移



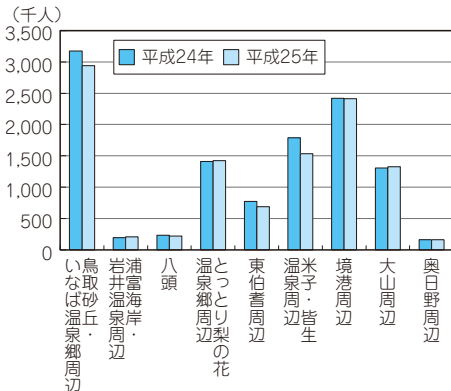
観光入込客数の割合 (平成25年) 発地別 (%)



利用交通機関別 (%)



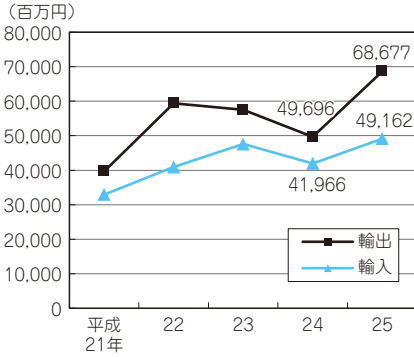
地域別観光入込客数



広域エリア名	観光入込客数(千人)	
	平成24年	平成25年
鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺	3,173	2,938
浦富海岸・岩井温泉周辺	195	206
八頭	235	222
とっとり梨の花温泉郷周辺	1,411	1,421
東伯耆周辺	774	686
米子・皆生温泉周辺	1,786	1,536
境港周辺	2,418	2,411
大山周辺	1,304	1,325
奥日野周辺	163	164

資料 県観光政策課「観光客入込動態調査」

境港の貿易額の推移



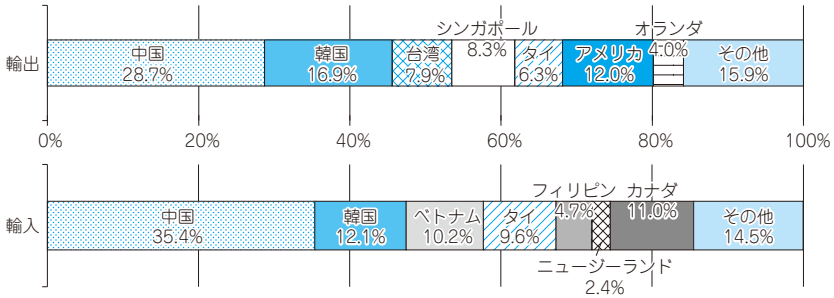
(貿易)

平成25年の境港（米子鬼太郎空港を含む）の貿易額を見ると、輸出、輸入とも前年に比べ大幅に増加しています。

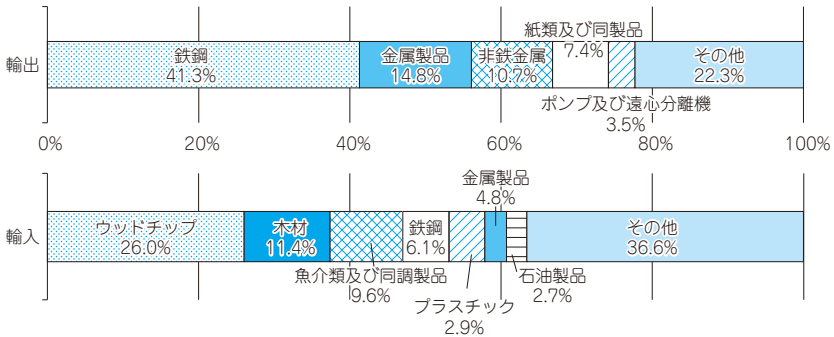
また、国別貿易額の割合を見ると、輸出、輸入とも中国の占める割合が最も高くなっています。

さらに、品目別貿易額の割合の上位を見ると、輸入では「ウッドチップ」「木材」「魚介類及び同調製品」の順となっており、輸出では「鉄鋼」「金属製品」「非鉄金属」の順となっています。

境港の国別貿易額の割合（平成25年）



境港の品目別貿易額の割合（平成25年）



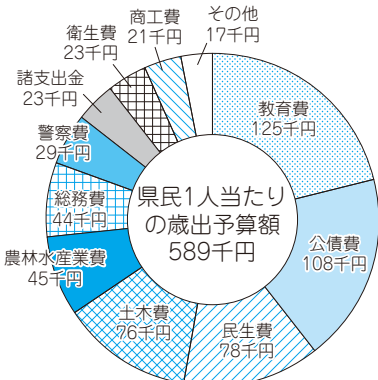
資料 すべて 神戸税関「貿易統計」

(県一般会計)

平成26年度の鳥取県の一般会計当初予算額は3,380億円となっており、県民1人当たり589千円となっています。これを目的別に見ると、「教育費」「公債費」「民生費」などの順となっています。

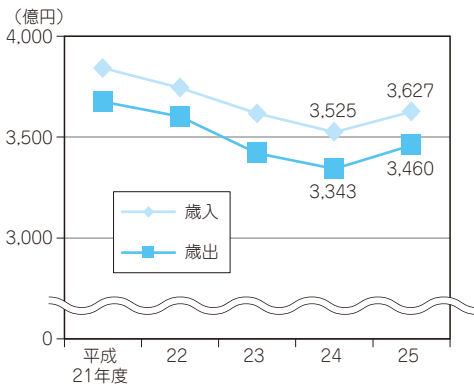
また、一般会計決算額の推移を見ると、平成24年度まで減少傾向でしたが、平成25年度は増加に転じています。

県民1人当たりの歳出予算額
(平成26年度)



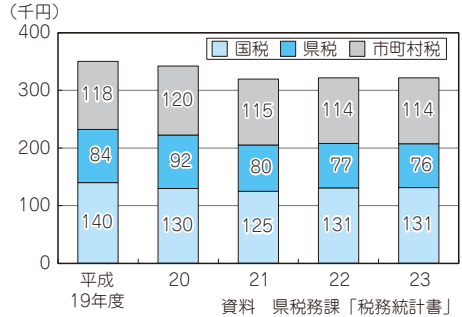
※平成25年度一般会計当初歳出予算額を平成25年4月1日現在の県推計人口(574,530人)で除したのもの。

一般会計決算額の推移



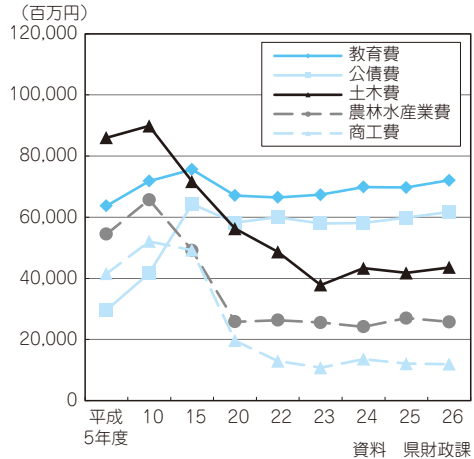
資料 県財政課

県民1人当たり租税負担額



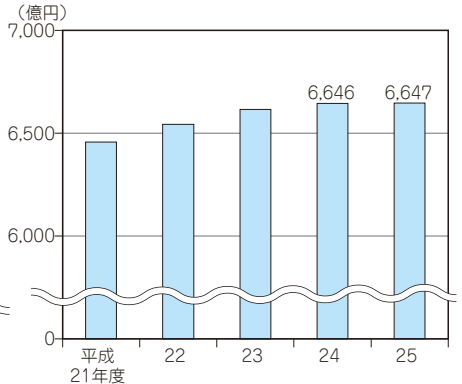
資料 県税務課「税務統計書」

目的別予算額の推移



資料 県財政課

地方債現在高の推移



※一般会計ベース

資料 県財政課